



薬の伝言板～肝性脳症～

No303 2023年2月
丸子中央病院 薬局

●肝性脳症とは

肝臓は、体内でタンパク質を分解する過程で生成する有害物質（アンモニア）をきれいにする働きをしています。しかし肝臓の働きが低下すると、アンモニアが肝臓で処理されずに脳へと運ばれてしまいます。その結果様々な精神症状や神経症状が見られます。その状態を肝性脳症といいます。

●症状

様々な症状が現れますが、異常に気づきにくい軽度の状態から、意識を消失する昏睡までその程度（昏睡度）に応じて、I～Vの5つに分類されています。

昏睡度	主な症状
I	・昼夜リズムの逆転 ・状況に合わない過度な幸福感 ・だらしなく気に止めない態度
II	・時間、場所がわからなくなる ・異常行動 ・医師の指示には一応従う ・羽ばたき振戦が見られる（次ページ参照）
III	・興奮状態または意識混濁 ・ほとんど眠っている ・医師の指示に従わない、または従えない ・羽ばたき振戦が見られる（次ページ参照）
IV	・昏睡（完全な意識消失） ・痛み刺激に反応
V	・深い昏睡 ・痛み刺激に全く反応しない

●検査、診断

肝性脳症が疑われる場合は以下の検査やテストを行い、それらの結果をあわせて診断されます。

・血液検査



血液中のアンモニアの量、肝機能の状態を評価するために行われます。検査は病状の変化を評価する目的で複数回にわたって行われます。

・画像検査

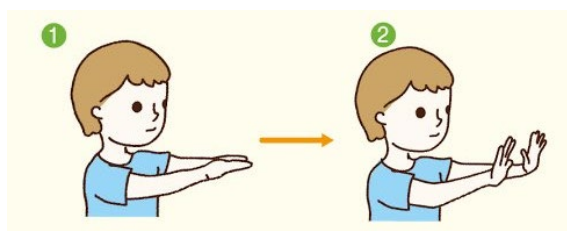


肝性脳症は脳機能が低下する病気であり、他の脳の病気と鑑別するために頭部のCTやMRIなどの画像検査を行うことがあります。

・羽ばたき振戦テスト



腕をまえに出してください。
手のひらを下に向けてその手のひらを私
に見せるようにしてください。



手のひらを上に向けている事ができず、
細かなふるえ（羽ばたき振戦）が起こる。

●治療

お薬で体内でのアンモニアの産生や吸収を減らしたり、解毒を促進することが主体となります。症状に応じて、これらのお薬はいくつか組み合わせて使用する場合もあります。

分類	治療薬	効果
合成二糖類	ラクツロースシロップ	腸内のアンモニアの産生と吸収を減らします。 便通を促進します。
難吸収性抗菌薬	リフキシマ カナマイシン	腸内のアンモニア産生菌に作用して、 アンモニアの産生を減らします。
分岐鎖アミノ酸製剤	リーバクト配合顆粒 アミノレバン静注用（テルフィス）	アンモニアの解毒に必要なアミノ酸を補い、体 内のアミノ酸バランスを整えます。

●日常生活の留意点

日常生活において次の点を留意することで再発の可能性を減らすことができます。

- タンパク質を控えて野菜を多く摂取する。
- 医師より処方されたお薬を正しく服用する。
- 便秘にならないように注意する。
- 発熱時や利尿薬の服用時は、こまめに水分補給をして脱水症状に注意する。
- 日常的に体に負担のかからない運動を取り入れて、睡眠のリズムを整える。



肝性脳症の初期段階は認知症やうつ病と症状が似ており、
自覚症状に乏しいため気付かないことも多いです。
定期的な通院を欠かさず、脳や肝臓に症状が出ていないか
チェックするようにしましょう。



文責 薬局 酒井 吉村